

大涌谷トレイル

箱根の火山活動の震源地である大涌谷では、地下のマグマによって加熱された蒸気やガスが絶えず立ち昇っています。谷は、酸性で硫黄臭い蒸気が溶岩を柔らかな白い粘土に変えた異世界の風景と、硫黄水で沸騰させて蒸した特徴的な「黒い卵」で有名です。ここから大涌谷に行く便利な方法の1つは、90分以内に完歩できる大涌谷トレイルを歩くことです。

ビジターセンターを出て、ロープウェイの姥子駅を通り過ぎる緩やかな上り坂です。途中で最初に注目すべきなのは船見岩です。これは、約3,000年前の火山噴火の土石流によって現在の場所に押し流された塚で、実際は巨大な岩です。船見岩という名は、芦ノ湖や、移動する船がかつてこの場所から見えていたことに気づかせてくれます。

さらに上り坂を進むと、トレイルは深い森に入ります。箱根では主に標高800メートル以上で育つ櫟の木やブナが、ヒノキなどの一般的な樹木と一緒に並んでいます。また、滑らかな薄茶色の幹を持つヒメシャラもあります。トレイルを登るにつれ、植生の幅は狭くなります。大涌谷の底近くの木のはほとんどは、2015年に起きた箱根火山の最近の噴火後に記録された大気中の二酸化硫黄の増加により枯死しました。トレイルは、箱根ジオミュージアムや「黒い卵」を売る店が入った建物の隣で終わります。